

図案表現 課題

2019年・後期の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

テーマ：「昔ながらの趣きある商店街の店舗」

－ 周辺環境 －

1. この商店街は、古くから地元民に活用されてきた、いわゆる“昔ながらの商店街”である。
2. 商店街を含めたこの辺りの街区は、空き店舗が増え、商店街ではインバウンド観光の集客を視野に入れ、現代にマッチした新たな店舗計画（改装・新装）が望まれている。

－ 設計対象等条件 －

1. 日本の良さがアピールできる現代にマッチした店舗計画とする。
2. 指定された区画に、
 - a 「精肉店＋レストラン（精肉の物販と、精肉店の自社商品を提供するレストランを併設した店舗）」
 - b 「居酒屋（酒類の物品販売を行うコーナーを設けた店舗）」
 - c 「スイーツショップ&甘味処（洋菓子・和菓子と幅広い商品を取り扱う飲食店/テイクアウトコーナーも併設）」
 - d 「ベーカリーショップ（テイクアウト用のパンの販売と、イートインコーナーを設けた店舗）」のうち1施設を選定し計画する。

－ 設計図書 －

設計主旨：200字程度で、具体的にかつ簡潔に

平面図：縮尺1：100、黒鉛筆を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する。

面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図（イメージパース）：内観パースまたは外観パースとする（フリーハンド可）。着色（ただし色鉛筆あるいはマーカー）

[答案用紙：A3判×2枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、携帯電話の機能の中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。